

# New Heroes

学年通信

4号

「関わり合いをとおして自己理解・他者理解を深め、誰かの役に立てる喜びをもてる生徒」へ

## 総合的な学習の時間 福祉実践教室に向けて

1年生の総合的な学習の時間の年間を通したテーマは「イキイキしている人を知ろう！」です。何が起ころか分からない世の中で、自分自身にも起こりうるし、高齢者の生活はいずれ必ず訪れる自分の生活です。そうなったときにもイキイキと暮らすためにはどうしたらよいか、どんなことが必要なのか、その知識を得ること、体験することは、今後、誰かの手助けが必要な人たちに接する際の大きな力になると思います。7月10日に行わ



れる福祉実践教室を当日のみの体験で終わることなく、これからの生活で生かせるように、本やインターネットで調べ学習をして、自ら知りたい、分かってほしいという気持ちを高めています。

当日は、福祉に携わっている人の話を聞いたり、キャップハンディ体験をしたりします。その活動を通して、自分たちの地域の福祉に関して行われている活動や、障がいのある人や高齢者の実情や思いを知ります。中学生となり、小学生のときとは求められる考えや行動も違うのだと気づき始めたこの時期に、障がいのある人や高齢者の思い、課題について考える体験を、他人を思う心や他人の痛みを感じる心などと共に、こうした課題に対して「弱者に何かをしてあげる」ではなく自分事として捉え、福祉の本質を理解するきっかけとなる大切な学習にしてほしいです。

## 夏休みはすぐそこ。夏休みまでにもっと成長しよう！

初めての間テストが終わり、自分の取組を振り返るきっかけになった人が多くいたことでしょう。遊びに夢中な小学生から、学習に力を入れる中学生になった人が多くいます。テストに向けて計画的に取り組んだ人は成果として表れました。廊下での過ごし方も落ち着き始め、集会時の体育館への移動も静かにすばやくできるようになりました。みんなの気持ちがそろっていることが下駄箱からも分かります。夏休みまでに、先を見通して行動できるようになるとさらに成長できるようになると思います。次の授業の準備や課題が出る前に取り組んでおくなど、先を見通していると心に余裕が生まれます。

